

産業交通水道委員会要求資料

令和4年10月
交 通 局

- 1 駅有人改札口リモート化実施後の各駅の配置人員について
- 2 駅有人改札口リモート化に係る初期費用及び経費削減効果額の内訳

1 駅有人改札口リモート化実施後の各駅の配置人員について

駅有人改札口をリモート化することにより、日中（9時～17時45分）以外の時間帯において、以下のとおり一日当たりの配置人員を各駅1名ずつ削減します。

【一日当たりの各駅の配置人員】

（単位：人）

駅名		始発～9時		9時～17時45分		17時45分～終発	
		現行	実施後	現行	実施後	現行	実施後
烏丸線	今出川	3	2	3	3	3	2
	竹田	5	4	6	6	5	4
東西線	山科	3	2	4	4	3	2
	三条京阪	3	2	4	4	3	2
	二条	3	2	3	3	3	2

2 駅有人改札口リモート化に係る初期費用及び経費削減効果額の内訳

(1) 初期費用の内訳

内 容	金 額
I C対応型多機能インターホン4台 (2改札口分(今出川駅南改札, 竹田駅南改札))	約4,000万円
遠隔操作設備5改札口分 (改札ゲート, インターホン, カメラ)	約5,000万円
合 計	約9,000万円

(2) 経費削減効果額の内訳

駅有人改札口リモート化の実施により、業務量を減らすことで、必要人員を8名削減することとしており、経費削減効果額は年間約6,000万円と見込んでいます。

【経費削減効果額の積算】

$$8 \text{名} \times 740 \text{万円}^* = 5,920 \text{万円}$$
$$\div 6,000 \text{万円/年}$$

※ 企業職給料表第5適用駅職員の生涯人件費単価